

令和8（2026）年6月

士別市長 渡 辺 英 次

「市長へのメール」の回答について

拝 啓

深緑の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長へのメール」で、士別市農畜産物加工体験交流工房の～むに関する貴重なご意見をいただきました。

「の～む」につきましては、施設の設置から17年が経過し、維持管理の観点から今後設備の更新が必要となっています。

施設のあり方につきましては、士別市公共施設マネジメント基本計画の基本方針である「最適化」の視点や、士別市財政健全化実行計画を踏まえ、これまで総合的に検討を行ってきました。

また、説明会を通じて、利用者の皆様と協議を行った結果、当施設は令和9年3月31日をもって閉館し、今後も農産物加工活動を継続していただけるよう、同様の目的を有する「士別市農産加工実習施設」へ機能を統合することとしました。

人口減少が進むなかで、まちの魅力と活力を保ち、まちづくりを着実に進めて行くためには、将来を見据えた持続的な財政運営が必要であり、公共施設の最適化と事務事業の見直しを進めることが重要不可欠です。

関係機関や団体との協議や市民のみなさまからの意見、本市財政状況等も踏まえ、総合的に検討してまいりましたので、ご理解の程お願い申し上げます。

の～む存続に関する「市長への手紙」につきましては、これまで9通の貴重なご意見をいただき、皆様の切実な思いを真摯に受け止めております。なお、ご意見をいただいた皆様には先述いたしました理由をお伝えしているところでございます。

「閉館予定のお知らせ」の掲示につきましては、5月22日の市議会全員協議会において、議員の皆さんに対して公共施設統廃合の市の最終的な考え方をお示しさせていただき、その後、報道を通じ広く市民の皆さんへもお知らせされたこともあり、施設利用者の皆様方へもポスター掲示によりお伝えさせていただいた次第です。

災害に備えた食糧品等の物資につきましては、士別市災害時備蓄計画に基づき「自助」「共助」「公助」の考えを基本に、各家庭や流通在庫の備蓄を前提として、避難所開設を想定した行政備蓄を保管しています。くわえて、道内外の事業所等とも防災に関する協定を締結し、災害時の物資供給を確保することを想定しています。

今後の持続可能なまちづくりを進めるための大変厳しい決断となりましたが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長へのメール」の回答といたします。

敬 具

- ・担当課（の～む）
経済部農業振興課
士別市東6条4丁目 電話0165-26-7030（直通）
- ・担当課（防災）
総務部総務課
士別市東6条4丁目 電話0165-26-7784（直通）
- ・広聴担当課
総務部総合政策課
士別市東6条4丁目 電話0165-26-7814（直通）